

平成 31 年度 一般入試後期日程

小論文（経営学部）出題のねらい

1. まずグラフを読み取る力をみる。次に、本文（2017 年）に描かれた日常の風景を参考にしつつ、将来の姿を記述する際に具体的な例を用いて簡潔に説明できる力をみる。文字数が長めなので、本文にあるようなスマートフォンの普及によって生じる課題について具体的に言及できればなおよい。

2. 難易度を高く設定した。本文中に回答のヒントはないが、高校などでもありがちな風景から、ルールや社会の存在、それらと自分との関わり方など、普段あまり言語化しないことについて文章にする力を問う。配慮する理由は、周りの迷惑にならないように、という一般的な回答でも間違いではないが、より深い考察ができればなおよい。

3. 筆者の考えを正確に読み取る力を問う。講義を聞く気のない学生の特徴についても記述することで、筆者の考えをより具体的に説明できる。筆者の行動の動機については本文に回答はないため推測することになるが、読み取れる筆者の考えからよほど離れた内容にならなければよい。

4. 前半は筆者の考えを正確に読み取る力をみる。後半は自らの考えを論理的に説明できる力を問う。「歩きスマホ」の危険性や利便性について独自の視点で具体的に記述できていればよい。文字数が多いので、それぞれに十分な記述ができる構成、具体例を用いた分かりやすさなどが求められる。